

音 楽

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出 ◆	音楽 1 0 3 2 0 3 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3	A B 変型 514	令和5年 (12冊)
27	教育芸術社	教 芸 ◆	音楽 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4	A B 変型 508	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 a)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 音楽

発行者の番号 略 称		17 教出	27 教芸	
内 容 a	我が国や郷土の伝統音楽の扱い	第1学年	・「ひらいたひらいた」について、歌詞とともにはずの花の写真を掲載したり、歌詞に合わせた遊び方を写真と挿絵で示したりして、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。	・「たなばたさま」、「おしょうがつ」などについて、歌詞の内容の挿絵を掲載して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。
		第2学年	・「村まつり」について、挿絵と解説で日本の祭りの様子を示して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。	・「とーしんどーい」について、他国の踊りの音楽と聴き比べることができるよう掲載して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。
		第3学年	・「あの町この町」等について、「こころのうた」として、挿絵や写真と共に掲載して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。	・神田囃子「投げ合い」について、祭りの様子を写真で掲載したり、神田囃子で使われる楽器や演奏している様子を写真や挿絵で示し、各楽器の役割を解説したりして、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。
		第4学年	・「さくら変そう曲」について、箏による演奏の様子を写真で掲載して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。	・「こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より」について、箏の演奏の様子や楽器全体を写真で掲載して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。
		第5学年	・「子もり歌」について、歌詞の内容を挿絵で示して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。	・「こいのぼり」等について、歌詞の情景を挿絵や写真で掲載して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。
		第6学年	・「おぼろ月夜」等について、歌詞の情景を写真で掲載するとともに、説明を付して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。	・「われは海の子」等について、歌詞の情景を写真で掲載するとともに、説明を付して、我が国や郷土の伝統音楽を扱っている。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 b)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 音楽

発行者の番号 略 称		17 教出	27 教芸	
内容 b	諸外国の 音楽の扱 い	第1学年	・「どれみのうた」について、音階を表現した挿絵を掲載して、諸外国の音楽を扱っている。	・「セブン ステップス」について、踊り方の例を挿絵で掲載して、諸外国の音楽を扱っている。
		第2学年	・「ティニックリング」について、踊っている写真と説明を掲載して、諸外国の音楽を扱っている。	・「小犬のビンゴ」について、歌詞のアルファベットにカタカタでフリガナを付して、諸外国の音楽を扱っている。
		第3学年	・スイス民謡「ホルディリディア」について、スイスの山と湖の写真に掲載して、諸外国の音楽を扱っている。	・「エーデルワイス」について、エーデルワイスの花の写真に掲載して、諸外国の音楽を扱っている。
		第4学年	・「サウンドオブミュージック」について、映画の情景を写真で掲載して、諸外国の音楽を扱っている。	・「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」について、歌詞の情景を挿絵で掲載して、諸外国の音楽を扱っている。
		第5学年	・「ほたるの光」について、英語歌詞の曲を掲載し、発音の目安としてカタカナを記載して、諸外国の音楽を扱っている。	・英語歌詞の「こげよマイケル」について、発音の目安としてカタカナを記載して、諸外国の音楽を扱っている。
		第6学年	・「交響曲第5番『運命』第1楽章から」について、指揮者によって演奏の感じが変わること記載して、諸外国の音楽を扱っている。	・「ハンガリー舞曲第5番」について、短調のパッセージと長調のパッセージの冒頭を楽譜で掲載して、諸外国の音楽を扱っている。

「採択資料2」【小学校調査研究(内容の総括表)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 音楽

J	a 表現及び鑑賞の題材数及び教材数 (曲数)					b 【共通事項】について 示された箇所				c 言語活動に ついて示さ れた箇所		d 我が国や郷土 の伝統音楽の曲数		e 諸外国の音楽 の曲数		f 他教科等や幼稚園教育要領 に関する内容などと関連させ た	g 発展的な 内容	
	(実数) 表現 及び鑑賞 の教材 数	①表現			②鑑賞 鑑賞の 楽曲数	り音楽を形づくっている要素 について示した箇所		つ音楽を形づくっている要素 及びそれらに用いる要素 について示した箇所		音や音楽及び言葉による コミュニケーションを 示した箇所		歌唱 共通教材 以外の唱 曲数	鑑賞 の曲数	表現 の曲数	鑑賞 の曲数			
		歌唱 の教材 数	器楽 教材 数	音楽 づくり の教材 数		表現	鑑賞	表現	鑑賞	表現	鑑賞							
																		表現
教出	第1学年	62	40	7	2	13	20	2	14	4	0	2	8	1	9	10	9	3
	第2学年	58	34	9	2	13	22	5	14	4	2	3	3	5	10	11	5	3
	第3学年	61	24	16	3	18	18	5	20	6	4	1	3	1	11	13	2	4
	第4学年	57	29	8	3	17	15	5	15	7	5	1	4	3	11	13	2	7
	第5学年	50	29	7	3	11	15	5	13	5	6	3	3	5	5	4	1	12
	第6学年	47	26	9	3	9	14	3	10	5	3	2	2	1	10	14	3	14
	計	335	182	56	16	81	104	25	86	31	20	12	23	16	56	65	22	43
教芸	第1学年	44	19	9	4	12	13	4	14	6	6	2	4	2	3	6	7	2
	第2学年	66	35	11	5	15	16	7	10	7	5	3	3	3	7	11	2	4
	第3学年	50	24	16	3	7	16	5	21	5	5	3	3	1	8	4	3	10
	第4学年	50	23	11	3	13	17	10	14	8	3	1	1	4	9	9	2	8
	第5学年	41	20	7	2	12	19	4	11	7	8	5	1	6	7	6	5	16
	第6学年	38	21	8	2	7	15	4	8	7	7	3	2	4	4	6	3	15
	計	289	142	62	19	66	96	34	78	40	34	17	14	20	38	42	22	55
平均値	312.0	162.0	59.0	17.5	73.5	100.0	29.5	82.0	35.5	27.0	14.5	18.5	18.0	47.0	53.5	22.0	49.0	

(調査結果) Oaの「表現及び鑑賞の教材数(実数)」は、教科書に掲載された教材の実数である。

Oa①の歌唱・器楽・音楽づくりを合計した教材数及び鑑賞の楽曲数は、それぞれ延べ数である。これは、学習目標または学習のめあての文言から、複数の学習活動内容が考えられる教材があるためである。

Obの「音楽を形づくっている要素について、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて示した箇所」は、本文中の思考力、判断力、表現力等に関する資質・能力を高める内容が示された箇所をカウントした。

Obの「音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符、休符、記号や用語について示した箇所」については、知識に関する事項が示された箇所をカウントした。

Ocの言語活動については、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動について具体的に示された箇所を表現・鑑賞の領域別にカウントした。

Odの「共通教材以外の唱歌の曲数」については、明治初期から昭和20年頃までに作られた文部省唱歌及び童謡等をカウントした。

Oeの諸外国の音楽とは、アジア等諸外国の民族音楽を含む日本以外の全ての音楽を表現、鑑賞の領域別にカウントした。

Ofの他教科等や幼稚園教育要領との関連については、表現及び鑑賞と関連させる学習活動について具体的に示された教材等をカウントした。

Ogの発展的な内容については、学習指導要領に示されておらず、児童が一律に学習する必要のない学習内容をカウントした。

「採択資料3」【小学校調査研究(内容から抜粋)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 音楽

発行者	教出	教芸
国旗・国歌の扱い	あり	あり
防災や自然災害の扱い	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし

「採択資料4」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 音楽

項目 発行者	ア 「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた工夫	イ ユニバーサルデザインの視点	ウ デジタルコンテンツの扱い
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・目次では、鑑賞教材、日本の唱歌等、音楽づくり、共通教材、「ショートタイムラーニング」等のマークを付けることで、1年間の学習の見通しを視覚的に示している。また、各ページの学習を深めるための工夫（「音楽のもと」等）について示している。 ・ページ右側にリコーダーの運指や新出事項を示す等、児童の主体的な予習・復習にも役立つ構成になっている。 ・キャラクターの吹き出しに、児童の気付きを促し、学びを深める示唆となる言葉を示している。 ・児童が主体的に学習内容を捉え、思考、判断、表現等をしながら見通しをもって学習できるように、「まなびナビ」（全学年）や、「学び合う音楽」（第3学年以上）等において学び方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。」と記載している。 ・「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを目次のページ下に示している。このURLを読み取ることによって、学習に役立つ情報（音や音楽を含む）をICT機器で視聴することができる。関連するページには、「まなびリンク」マークを示している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙裏の見開きページに、1年間の学習イラストマップを示したり、共通教材、音楽づくりの教材、鑑賞教材等のマークを付けたりすることで、児童が学習の見通しをもつことができる構成となっている。 ・学習を手伝うキャラクターと学習を深めるキャラクターを設定している。目次で紹介するとともに、本文中においては、これらのキャラクターや子供のイラストに吹き出しを付け、児童の気付きを促したり、対話的な学習を充実させる学習のヒント等の言葉を示している。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために参考となる学びの手順や、工夫の視点をイラスト等も使用しながら、具体的かつ視覚的に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもたちが無理なく取り組める音域や難易度に配慮して、教材を選択・開発しています。」と記載している。 ・「全ての子どもの色覚特性に適應することを目指してデザインしています。」と記載している。 ・「特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。」と記載している。 ・「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを関連するページに示している。このURLを読み取ることによって、学習に役立つ情報（音や音楽を含む）をICT機器で視聴することができる。